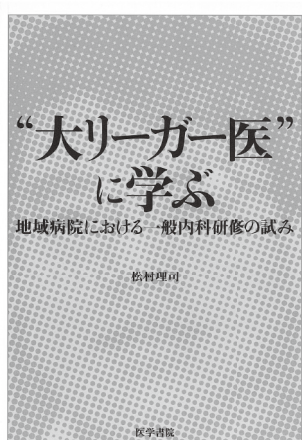


今月の特集関連本 ②

**“大リーガー医”に学ぶ**

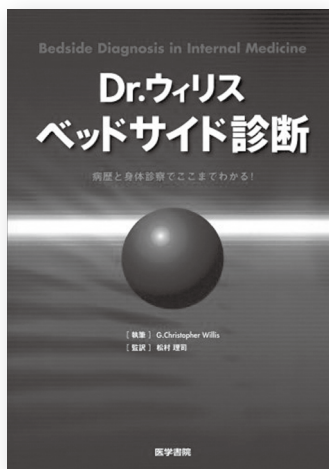
地域病院における一般内科研修の試み

松村理司＝著

本体 2,200 円＋税／328 頁／医学書院／2002

座談会②で話題の“大リーガー医”プログラムについて、松村理司先生自身がまとめた集大成。

すぐれた臨床医を育てるため、指導医として、北米の優れた臨床医を招聘して教育を行ってきた著者のユニークな試みが詳らかに。また、その経験から育まれたわが国のこれからの卒後研修のあり方・方向性を率直に提言。地域の中小病院で、いかにジェネラリストを育てていくかのヒントが満載。

**Dr. ウィリス ベッドサイド診断**

病歴と身体診察でここまでわかる！

G. クリストファー・ウィリス＝著 松村理司＝監訳

本体 6,500 円＋税／720 頁／医学書院／2008

呼吸器外科医だった松村理司先生に内科医に転向すると決意させた Dr. ウィリスは、その後、市立舞鶴市民病院にて初代“大リーガー医”に。日本の医学生や若手医師に「臨床診断学」を教えるべくまとめたといわれる、伝説の“ウィリスノート”の全訳本。

患者の訴える症状、病歴・身体診察から種々の情報を集めて鑑別診断を行い、ベッドサイドで最終診断にいたるまでのプロセスが詳述されており、本書を読めば、本来、もっと驚くべき正確さ、速さ、そして少ないコストで診断に到達できることが理解できる。決して時代遅れになることのないベッドサイドの診断技術！

**感染症レジデントマニュアル**

第2版

藤本卓司＝著

本体 4,500 円＋税／496 頁／医学書院／2013

座談会④に登場する平島修先生の“師匠”の本。「実は、身体診察の内容も豊富」と平島先生。

レジデントが今、直面している感染症に対し、まさに診療で役立つ知識をまとめたマニュアル。いつどうやって起因菌を判断し、抗菌薬は何をどのくらい使うのか？ 使うにあたっての注意事項は？ 変更・終了の規準は？ 曖昧な判断で漫然と使われがちな抗菌薬を正しく使うための知識と、国際標準に即した考え方、著者のノウハウが満載。臨床現場で活躍する医師に広くお勧めする“感染症の定本”、待望の改訂版登場。